

## 伊東市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和元年8月23日(金) 午前10時30分～午前11時50分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 伊東市長 小野 達也 教育長 高橋 雄幸  
教育委員 井上 靖史 教育委員 山本 香織  
教育委員 沼田 芳美 教育委員 村上 恵宏
- 4 事務局 企画部長兼市長戦略監 杉本 仁 教育部長 富士 一成  
次長兼教育総務課長 岸 弘美 行政経営課長 小川 真弘  
教育指導課長 操上 俊樹 幼児教育課長 稲葉 祐人  
生涯学習課長 杉山 宏生  
教育総務課課長補佐 鈴木 慎一  
教育総務課課長補佐 太田 靖久  
教育指導課主幹兼指導主事 関野 耕一  
主事 長津 雅也 主事 杉山 詩乃

### 5 会議の経過

**事務局**：ただ今から伊東市総合教育会議を開催する。はじめに、傍聴を希望する方が2名いるため、傍聴を許可するか市長に伺う。

**市長**：入室を許可する。

( 傍聴人 入室・着席 )

**事務局**：開会に当たり、市長からごあいさつ申し上げます。

**市長**：皆様、おはようございます。本日は忙しい中参集いただき感謝申し上げます。前回の総合教育会議では、学校規模・配置の適正化に向けた基本方針(案)に対する協議において、貴重な意見を頂き重ねて感謝申し上げます。伊東市としては、現在、地域タウンミーティングを開催しており、6月29日の鎌

田地区を皮切りに、川奈・湯川・岡地区と重ね、年内に全16回15地区全てを回る予定となっている。最後の1回は市役所において、各地区で出られなかった方に出席を呼びかける予定である。既に開催した地区が今回の方針に係る地域だったこともあり、毎回、保護者や地域住民の切実な声を受け止めてきたが、教育委員会においても各学校で保護者説明会を開催し、数多くの保護者の声に耳を傾けてきたと思う。これらの意見を基に修正した基本方針（案）が先ほど議決されたとのことであり、本日は、寄せられた意見の内容や修正内容について確認し、基本方針に定めた教育環境整備に向けて共通理解を図りたいと考えている。本日の総合教育会議が、子どもたちの将来の利益に繋がる良いスタートとなるように、また、教育委員会には、今後の適正化実施に向けて、迅速かつ丁寧な対応をお願いし、私からの挨拶と代えさせていただく。

**事務局**：続いて、教育長よりごあいさつ申し上げます。

**教育長**：おはようございます。本日はご多用の中、小野市長、教育委員の皆様に出席いただき、感謝申し上げます。本日のテーマである学校の適正化については、保護者や地域、学校関係者と連携し、また寄り添ったものでなければならぬと考えている。各学校の保護者説明会を始め、区長会やPTA連絡協議会にて説明し意見を頂いた。説明会の実施状況等については、事務局より説明があるかと思うが、教育委員会としては、子どもたちの教育環境を整えることを第一に考え、今までの経過を踏まえ丁寧な説明を心掛けてまいる。このような中、子どもの心のケア、安心安全な通学、学童保育に関する事など、数多くの貴重な意見を頂き、基本方針に配慮事項等として盛り込み、先ほどの教育委員会定例会にて議決した。保護者の不安や心配を解消するための具体的方策は、今後設置予定である協議会にて、保護者・地域の協力を頂きながら決定していくこととなる。本日は、今後、この方針を進めるに当たっての要望や提案等忌

憚のない意見を頂き、市と教育委員会と連携を図ってまいりたいと考えている。

**事務局**：それでは議事に入る。議事の進行については「伊東市総合教育会議の運営について」のとおり、小野市長にお願いしたいと思う。

**市長**：では、ここからは私が進行する。始めに、議事の（１）「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針について」である。それでは、事務局より説明する。

（事務局より資料に沿って説明）

**市長**：それでは、これより協議に入る。５月にまとめた基本方針（案）については、保護者への説明会やパブリックコメント等の意見を踏まえた修正を行い、教育委員会にて基本方針として決定していただいたとのことである。今後、この方針に基づいて統合を進めていくこととなるが、保護者等の意見を受け、統合を進める上での要望事項や提案事項があれば伺いたい。

**村上委員**：検討委員会で協議され、その建議書を受け教育問題懇話会にて協議を重ねて答申が出され、それを基に基本方針（案）を作成し、保護者等からの意見を取り入れ修正をした基本方針であると思っている。今後、基本方針に基づき地域に説明をしていかなければならないが、更に具体的な話をしていくと細かい部分の修正は必要になるかと思う。統合によって、小規模校のデメリットは解消されると思うが、メリットについては、どのように継承できるか、活かしていくことができるかは真剣に考えていただきたい。例えば、川奈小学区の地域文化の継承においては、南小学校全体では難しいとしても、希望者だけでも地域や行政、その他団体等が協力し、遠泳や海を活かした活動等を継承して行うことができるか、しっかり検討していただきたい。心のケアについては、子どもだけでなく親も相談できる窓口を設置した方が良いかと思う。また、小規模校では一人一人に目が行き届いていたかと思うので、統合後の支援

員の増員等の対応も考えていただきたい。

**事務局**：保護者説明会の中で小規模校だから出来るものや良さを数多く教えていただいたので、学校行事や社会教育等様々な観点から文化の継承をどこまで出来るか、まずは教育委員会と学校でしっかりと話をしていきたい。また、地域の文化として、どういったものがあるのか、今後の地域協議会で出してもらいたい。心のケアについては、教員を含め教育指導課と連携を持って検討していきたい。

**沼田委員**：具体的に示していくことが不安解消に繋がると思う。学校間の事前交流のスケジュールも早急に示し、交流内容も密度の高いものとして欲しい。川奈小学校の児童が南小学校に交流に行くだけではなく、南小学校の児童が川奈小学校に交流に行き、川奈の良さを体験してもらうことも良いのではないか。3校の統合については、3年計画くらいで交流を計画立てていく必要があると思う。統合後の学校名については、大人だけでなく子どもたちにも投げかけてみると、自分たちの学校だという意識が出て良いのではないか。通学に関してスクールバスや公共交通機関を活用するに当たっては、無償化や費用の補助等を検討してもらいたい。学童保育についても要望が多いと思うが、規模が大きくなり利用者も増えると思うので、具体的に検討をして保護者の要望に応えていく必要があると思う。

**事務局**：保護者説明会を行う中で、非常に難しい部分として、決めつけて話を進めて欲しくないという意見と早くスケジュールを出して欲しいという意見の両極端な意見が出ていた。本日定例会にて方針が議決したので、具体的な検討を進めて示していきたい。学童保育についても保護者説明会の中で本当に多くの意見を頂いたので、しっかり検討していきたい。

**井上委員**：子どものメンタル的な心配やクラス替えがどうなるか等不安は多く

あるかと思うので、具体的な例を示していくことは良いと思う。不安より楽しいことがあるという具体例が必要ではないか。事前の学校間の交流について、川奈小学校と南小学校の統合までは時間が少ないが、3校の統合の際は年に何回か十分な回数を重ねて欲しい。

**事務局**：予算が関わる部分や市長部局の協力を要する部分もあるかと思うので、しっかり連携を取り統合して良かったと思える環境作りを検討していきたい。学校間の事前交流については、学校行事になるので学校でしっかりと年間計画を立ててもらい、教育委員会としては、交流に係る移動手段のサポートをしていく。

**山本委員**：統合して良かったと思える学校を作らなければいけない。そのためには、子どもたちや保護者、地域の方々、市が協力をして、より良い学校を作っていく必要があるかと思う。学校間の交流は、先生方や大人が決めたプログラムだけでなく、子どもたちが考えた交流の仕方を取り入れると子どもたちの主体性が出て良いのではないか。子どもたちの心のケアについては、どうしても不安が大きいと思うので、大人たちが窓口をしっかり支援する必要がある。また、安心できる材料として、スケジュールを早めに開示していく必要がある。スクールバス等は、学年によって帰りの時間に差があると思うので、柔軟に対応できるようにして欲しい。

**事務局**：スクールバスについては、先日東伊豆町にも視察に行き、学年によって帰る時間が違うことに配慮が必要であると感じた。時間等は参考にし、学校の特性を踏まえて時間や利用形態等、更に柔軟にできる方法が無いかしっかり検討していきたい。

**操上教育指導課長**：本日基本方針が議決されたので、今後、学校では準備委員会（仮称）を立ち上げ、具体的な内容について協議をしていくことになるかと

思う。例えば、交流については、どういう方法が子どもたちにとって良いのか、学校の教育課程の中でどういう交流の仕方がより効果的なのかや、心のケアについては、学校だけではなくスクールソーシャルワーカー等専門家も含め検討していくかと思う。学習の決まりをどうするか等、その他細かい部分は非常に多くあるが、頻度はなるべく多く設け、子どもたちや保護者の方々が安心できる形を作っていきたい。

**市長**：これから具体的にになっていくと思うが、委員の方々の提案等を利用しながら進めていきたいと思う。

**市長**：次に、統合を進める上で、伊東市への要望事項や提案事項があれば伺いたい。

**井上委員**：新しく学校を作る上で、子どもの安全が最優先かと思う。車社会の中で学校は原則車での送迎禁止となっているが、なかなか難しい時代ではないか。ロータリーがあれば、安全に最低限順序良く送迎ができるのではないか。現在市内の小中学校には無いと思うので、新しい学校にはまず設置してもらいたい。通学に関して、どうしてもスクールバスではカバーしきれない部分が出てきてしまうと思うので、自家用車での送迎も含めて何か策を考えてもらいたい。閉校になってしまう学校に関しては、歴史や思い出がある方がたくさん居るかと思うので、地域の方々も含め閉校イベントを用意してもらいたい。

**事務局**：閉校式について、視察した東伊豆町ではOBを含めて閉校式を開催し、閉校となる学校の校歌のオルゴールを記念品として参加者に配布したようだ。記念になるような式は大事であると感じているので、地域協議会や準備委員会で統合の準備を進めていくだけではなく、閉校に向けたセレモニー等も併せて部会を設置し検討していけたら良いと思っている。

**岸次長兼教育総務課長**：学校の送迎用ロータリーについては、徒歩通学が基本

となっており、校門より中に車が進入するようなロータリーを造ることが子どもの安全面からどうなのか、様々な観点から検証したい。学校にいる間に病気や怪我等で緊急的に保護者に車で迎えに来てもらわなければならない場合も想定される。そのため、学校の近隣の公有地を有効活用し、保護者が優先的に使えるような土地があれば使えないか等、市長部局に協力していただき検討していきたいと考えている。

**山本委員**：校舎が古くなってきているため、耐震化や長寿命化の改修工事、もしくは、建替も含めて整備が必要かと思う。スクールバスを導入するに当たっては、安全に乗り降りできる乗降場を整備する必要があるのではないかと。心のケアについては、大人は相談窓口を示せば訪問したり電話で相談したりするだろうが、子どもたちは難しいかと思う。学校で子どもたちの不安を察知したり、子どもたちが気軽に声をかけたりできるのは、担任の先生や養護教諭であるのではないかと。なので、統合の前から統合後も含めて教員やカウンセラーの増員をお願いしたい。ただでさえ先生方は忙しい状況にあるので、しっかりと子どもたちと向き合える時間を確保できるように、市の予算措置をお願いしたい。

**市長**：建替等は必要に応じて順次行っていくことになるかと思う。スクールバスを導入した際には、乗降場所の確保は当然必要になると考えている。子どもたちのケアについては、統合の前から手厚く支援していくことも必要であると思うので、今後考えていきたい。よくある話だと、小規模校が統合した場合、小規模校にいた教員を統合後の学校に配置し、子どもたちのケアをしてもらうことがあるので、参考とし検討したいと思っている。

**村上委員**：今回の方針は小学校に留まっているが、中学校についても並行して検討を進めていくべきである。建替も含めて新たな学校を作り上げていくつもりで進めてほしい。人口減少の中でただ統廃合を進めていくのではなく、どこ

かで歯止めをかけなければいけないと思うので、人口が増えるような跡地利用や魅力的な学校づくりをお願いしたい。学校の老朽化も進んでいるので整備すべきだと思う。今後、中学校も含めて新しい学校ができることを期待したい。

**事務局**：まず小学校の統廃合を進めていく中で、中学校については、同時並行で小中一貫校等含め様々な可能性を検討していく。

**教育部長**：跡地利用については、いかに魅力的なまちづくりに関連していくことができるか、教育委員会だけでなく市長部局とも連携し、民間企業の誘致等を含め多方面から地域にとってメリットのあるものを検討していきたい。

**市長**：県議会議員だった頃、跡地利用による企業誘致の事例を見る機会が多くあった。全国的には合宿施設や飲食店等様々な事例があるが、伊東としては宿泊施設や地域開放、サテライトオフィス等に活用できたら良いのではないかと個人的には考えている。

**沼田委員**：今後、魅力ある学校づくりをすることが大事であると思う。それには、環境整備を十分に行うための予算をしっかりと確保してもらいたい。新しい学校づくりに向けて、子どもたちに何をやりたいか目指したいか等問いかけ、子どもの声をたくさん取り入れてみることも良いのではないか。魅力のある学校として、スポーツやクラブ活動で強みを出せたら良いのではないか。跡地利用として、公園や専門学校、スポーツクラブ、企業誘致等、力を入れて市全体が明るくなるようにしてもらいたい。また、市として子どもを増やす政策は大事だと思うので、子育て支援等手厚い補助をお願いしたい。

**事務局**：魅力ある学校づくりの一環として、安全に学校に通えるように環境づくりをしていきたい。通学路に関しては、教育委員会としても現地確認を行い、必要な整備を進めていきたいと思っている。子どもたちの声を聞くことは良いことだと思うので、地域協議会や学校との協議の中で、子どもたちの発想を取

り入れて何か出来ることはないか考えていきたい。

**市長：**少子化対策は悩ましい課題である。伊東市では平成30年度に5歳児の保育料の無償化を行ったので、ある程度少子化に歯止めが効くかと思ったが出生数は減少してしまった。国の施策として、今年度10月から幼児教育の無償化が始まるが、お金の問題だけではないのかもしれないと考えている。近隣の市町では子育て世帯が増えているところがあるので、研究しながら市としても力を入れていきたい。

**市長：**最後に、小・中学校の規模及び配置の適正化全体について、意見等があれば伺いたい。

**井上委員：**跡地利用について、伊東市は観光をメインにしているかと思うが、観光ほど脆弱なものはないと思う。人口増加を考えると産業に利用する方が良いのではないか。グラウンド等の広い敷地を利用することができるので、養殖場等を誘致することも良いのではないかと。仕事をする場があれば必然的に人口が増加し、市の活性化にも繋がると思う。産業もしくは専門学校等の人が集まって来るような施設に利用できれば、地域の振興にも寄与できるのではないかと。と思う。

**市長：**貴重な意見として参考としたい。

**市長：**教育長から何か意見はあるか。

**教育長：**前向きな協議をしていただき有難く思う。様々な歴史の中で地域は学校を中心に文化が育まれてきたと思うので、今後も地域の声、保護者の声をしっかりと聴き、ご理解・ご協力を得ていくことが重要だと考えている。そのためには、学校と教育委員会が子どもたちのことを第一に考え、同じ目的に向かって一丸となり、この方針に沿って進めていくことが必要だと思う。これを良い機会と捉え、子どもたちが自分たちの力で良い学校を作っていこうという意

識を醸成させていきたいと思っており、学校長を中心として教員の方も借りながら一緒に進めていきたい。市当局においては、本日、協議いただいた様々な要望や提案に対して、関係各課のご協力をいただけるようお願い申し上げます。

**市長：**この方針は、子どもたちの将来に向けての人材育成であり、未来を拓き、明るい伊東をつくり上げていく取組につながるものと確信しており、市としても全面的に支援していきたい。

**市長：**それでは、次に、議題（２）「その他」にまいる。意見等があればお願いする。

（ 意見なし ）

**市長：**それでは、次に事務局から何かあるか。

（ 連絡事項等なし ）

**市長：**これで、本日の伊東市総合教育会議を終了する。